

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/03/11号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 高値圏で売買が交錯する

NY原油先物相場は、1バレル=77.50~81.00ドルをコアに売買が交錯する展開になった。引き続き中東地政学リスクの下値サポートが強く、今年最高値圏での取引になっている。石油輸出国機構

(OPEC) プラスが4~6月期も自主減産を継続する方針を示したこと、為替がドル安に振れたこともポジティブ。一方で、80ドル台では早めに利食い売りを進める動きが強く、明確な方向性を打ち出すには至らなかった。逆に需要不安の上値圧迫も見られたが、大きく値を崩すような動きも見られなかった。

イスラエルとハマスの戦闘状態は続いている。3月10日からイスラム教のラマダン（断食月）が始まるため、休戦合意に向けて各国が調整に動いたが、合意には至らなかった。ラマダン入り後も休戦協議が行われる見通しだが、合意が可能なのかは不透明感が強い状態が維持されている。紅海では、武装組織フーシ派の商船に対する攻撃が続き、初の死者も報告されている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（3月1日時点）は、原油が前週比137万バレル増、ガソリンが446万バレル減、石油精製品が413万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 地政学リスクが維持されると底固い、IEA月報に注目

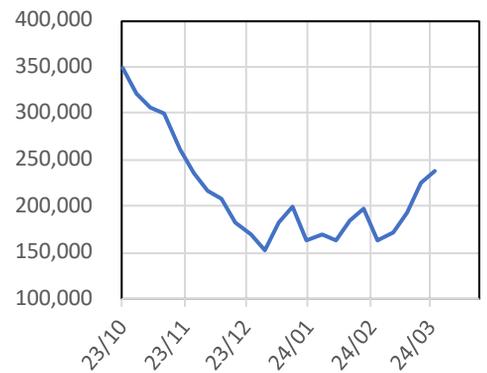
中東情勢の緊張状態が続くのであれば、底固い展開が続く見通し。70ドル台後半をコアに売買が交錯しているが、徐々に80ドル台での取引を増やそう。需給ひっ迫感が乏しいため、80ドル台から更に急伸する展開が想定されている訳ではないが、押し目買い優勢の地合を維持しよう。特にラマダン入りで更に大きな混乱などがみられると、期近限月にプレミアムを加算する形で年初来高値80.85ドルを上抜く可能性がある。

ただし、ラマダン入りでイスラエルとハマスの休戦協議が加速するとの見方もあり、仮に休戦合意期待が高まると70ドル台前半まで急落する可能性がある。引き続き中東情勢のリスク評価に揺れ動く不安定な地合になろう。

3月5日に中国全国人民代表大会（全人代）が開幕し、今年の経済成長目標が5%前後に設定された。昨年と同水準に設定されたが、マーケットの期待していた大規模な財政出動の方針などは示されなかった。中国経済の減速懸念が重視されると、調整売りが膨らみやすくなる。12日に石油輸出国機構（OPEC）、14日に国際エネルギー機関（IEA）の月報が公表される。ここで厳しい需要見通しが示された際にも、上値を圧迫されよう。

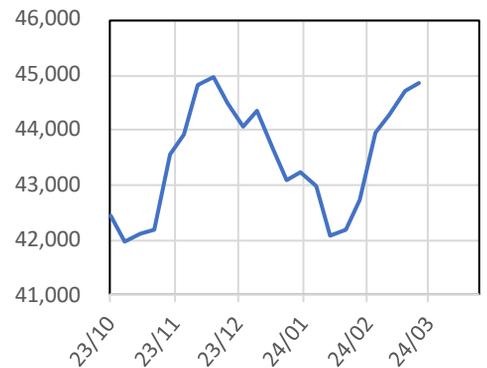
一方、3月12日には2月米消費者物価指数が発表される。ここで米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ観測を背景としたドル安圧力が維持されると、ドル建て原油相場の下値不安は限定される。逆に、インフレ懸念の蒸し返しから米金利上昇・ドル高・株安が促されると、原油相場の上値は圧迫されやすくなる。株式相場の過熱感が強くなっているため、リスクオフ化が促されるリスクにも注意したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



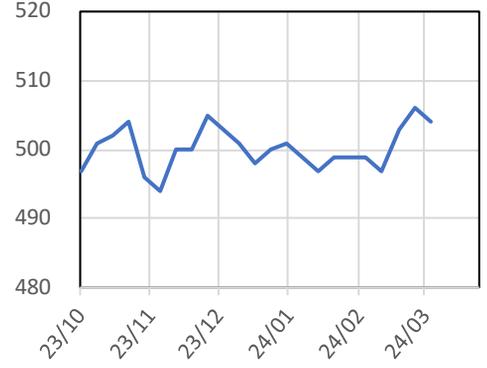
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

